ホット通信～

青年海外協力隊員としてドミニカ共和国に２年間派遣。７月帰国。「派遣の間に感じた事や経験を、今後阿蘇市でも生かしていきたい」と希望に満ちる女性　理学療法士　古澤さおりさん（２８歳、波野）をご紹介します。

青年海外協力隊とは･･･開発途上国の人々のために自分の能力、経験を生かしボランティア活動をしたいという若者を支援するプログラム。現地で同じ言葉を話し同じ家に住み同じ物を食べながら、人づくり地域づくりに協力する。

この度、無事２年間の任務を終え帰国することが出来ましたのでここに報告させて頂きます。私はドミニカ共和国という中南米にある小さな国（九州と高知県を合わせた大きさ）で理学療法士としてボランティア活動を行っておりました。野球（サミーソーサの出身）や移民訴訟問題でドミニカ共和国という国名はご存知の方もいると思いますが、きれいな海（大西洋・カリブ海）に囲まれ自然豊かな常夏のラテンの国です。主要都市はビルが立ち並び一見都会なのですが、掘立て小屋が立ち並ぶ貧困街も存在し、貧富の差が激しいのが現状です。停電や断水は当たり前、下水の不備による問題など、はじめは驚きましたが、限られた資源を大切に工夫しながら楽しく生活する事を教わりました。私の任務としては民間のリハビリ施設で技術指導、研修会を行ったり、テキストを作ったりしながらリハビリの質の向上に努めました。言葉や文化の違いで大変な事も多々ありましたが、多くの方々に支えられ、その何倍もの幸せを感じ、いろんな事を学ぶことが出来ました。この心動を一生忘れることはできないと思います。このような貴重な経験をさせて頂いた事に感謝し、今度はこの経験をいろんなところで還元できるよう頑張っていきたいと思います。

独立行政法人　国際協力機構
青年海外協力隊　古澤さおり

WEB TV ASO（うぇぶ てぃーびー あそ）のリポーターが誕生！

広報７月号で募集していた「ナレーション・リポーター」に応募して第１号のリポーターとなった城佳寿美（かずみ）さん（内牧小５年）

リポーターの仕事にあこがれているという城さんは、学校でも放送部として活躍。広報で、阿蘇インターネットテレビ WEB TV ASO リポーター募集記事を見つけ思い切って応募したところ、いつものスピーチが光りリポーター出演が決定。今放送中の「食寝遊ｃｈ豆腐つくり体験」「大自然ｃｈ宮山遺跡発掘調査」に出演しています。また、音声ボランティアにも参加し、目の不自由な方へ広報誌を読む活動にトライしています。「自分の夢に向って活動するってとても楽しい」と城さん。元気な声をこれからもお届けします！

今年もっとも輝いた短距離界の名監督は阿蘇北中出身

信愛女学院高校陸上部監督
大倉弘一郎さん（小里出身・38歳）

高校の社会科の教師である大倉さんは、４ページで紹介した江良さんの陸上部監督。今年次々に選手たちが好成績を残し、注目の監督となりました。大倉さんは阿蘇北中の陸上部出身。「中学時代は、とにかく負けるのが嫌いでした」と小さい頃からの負けず嫌いが今につながっていると言われます。さらに中学時代の恩師松野孝雄先生（現小国中校長）との出会いで今の自分があるとのこと。

陸上部の監督に就任後、とくに努力した点について、「一番大切なのは生徒一人一人を大切にすること」と部員全員と毎日日誌で会話し、信頼関係を深めてきた大倉さん。「選手になれずサポート役にまわった生徒たちのこともよく理解し、全員が一体化したチームをつくったことが良い結果となった」とこれまでを振り返られ、今後もいろんな角度から勉強し、今の"非常識"が１０年後の"常識"になっているような事を探していきたいと抱負を語られました。

＊今年度の成績＊

・全九州高校新人、南九州高校陸上（２年連続総合優勝）　・インターハイ（準優勝＝４００ｍ　・１６００ｍリレー /6位＝４００ｍリレー /8位＝２００ｍ /女子総合＝７位）